

# 平成 27 年度 技能照査実施状況調査について

～ 技能照査は法律で裏付けされた制度です ～

技能照査は、職業能力開発促進法に基づき、職業訓練を受ける者に対し、必要な技能及びこれに関する知識を習得したかどうかを検証するほか、職業訓練の効果を確認することにより、効率的な職業訓練の実施を図るなど、職業訓練の振興に寄与することを目的として実施されているものです。

当職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 開発部 教材開発室では、この趣旨に基づき、平成 25 年度から平成 28 年度までの 4 年計画で、「分野別実践的カリキュラムに係る評価の水準に関する基礎研究」をテーマに、「技能照査」及び「職業訓練指導員試験」について、試験問題のリバイス等の作業に取り組んでいます。

このたび、技能照査に係る基礎研究の一環として、平成 27 年度に実施いたしました、全国の都道府県立職業能力開発施設における技能照査の実施状況調査について、その結果を取りまとめましたので、公表いたします。

今回の取りまとめ結果が、今後のより効果的な職業訓練の実施に資するものとなれば幸いです。

<目次>

## I. 調査実施の概要

- |         |          |             |
|---------|----------|-------------|
| 1 調査目的等 | 2 調査対象施設 | 3 調査の対象     |
| 4 調査期間  | 5 調査方法   | 6 アンケート回収結果 |

## II. 調査結果

- |           |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| 1 調査結果の概要 | 2 調査結果の考察 | 3 個別考察 |
|-----------|-----------|--------|

## III. 調査票

(別添)

## I. 調査実施の概要

### 1. 調査目的

技能照査の合格者（技能士補）は、技能検定制度において学科試験免除の対象者とされており、また、職業訓練修了を技能検定の受検資格、免除要件に活用、技能検定合格を職業訓練指導員試験免除資格としているなど、職業訓練と技能検定制度は、密接不可分の制度設計になっている。

基盤整備センター教材開発室では、技能照査の実施及びその活用状況等を把握し、技能照査の水準の考え方を確認するとともに、職業訓練における能力評価の取組みやその活用に係る課題等を整理し、技能検定等評価制度の活用促進の検討に資する目的で職業訓練の評価の水準に関する基礎研究に取り組んでおり、今回の調査は、技能照査の実施状況を把握し、今後の基礎研究の展開に活用することを目的とする。

### 2. 調査対象施設等

調査対象施設等は、47都道府県の職業能力開発施設とした。

（※ 職業能力開発主管課にとりまとめを依頼）

### 3. 調査の対象

調査対象は、調査対象施設で技能照査を実施している訓練科

### 4. 調査期間

上記2の都道府県に対して、以下のように設定した。

- ① 平成28年2月 3日～平成28年3月 4日（郵送）
- ② 平成28年2月10日～平成28年3月11日（電子メール）

### 5. 調査方法

「技能照査実施状況調査票」によるアンケート調査を実施した。

（都道府県については、公共職業能力開発施設用と認定職業訓練施設用の2種）

### 6. アンケート回収結果

上記2の都道府県からの回収結果は、以下のとおりであった。

- ・ 44 / 47 都道府県（回収率93.6%）

## II. 調査結果

### 1. 調査結果の概要

都道府県の職業能力開発施設 44都道府県 160校 490科

以下に各設問の選択肢の回答数とコメントを記載する。

なお、これら回答結果については、別紙「技能照査実施状況調査（質問及び回答結果）」にグラフ化してまとめているため、併せて参照されたい。

#### 1-1. 技能照査の実施

技能照査の実施概要として、対象、実施時期、委員会設置について

問1-1 実施対象（不測の事故による者を除く）

(1) 全員	(2) 希望者のみ	(3) 技能検定関連職種のみ	(4) 実施していない
489	1	0	0

→ ほぼ全員に対して実施している。

問1-2 実施時期

(1) 4ヶ月前	(2) 3ヶ月前	(3) 2ヶ月前	(4) 修了月	無回答
2	11	435	39	3

→ ほぼ修了前月に実施している。

問1-3 実施委員会等の運営組織設置

(1) 有り	(2) なし	無回答
124	365	1

→ 約74%の科が組織化されていない。

#### 1-2. 試験問題

学科問題の問題数、出題元、採点方法、実技問題の内容、試験時間、採点基準等の概要について

問2-1 学科問題数

(1) 50問未満	(2) 50~99問	(3) 100問	(4) 101問以上
16	102	341	31

→ 約70%の科が100問出題。

問2-2 うち真偽法（二肢択一法含む）の割合

(1) 25%未満	(2) 25~50%	(3) ~75%	(4) ~100%	無回答
99	40	23	327	1

→ 真偽法の出題比率が半数以上の科が多い（約71%）。

問2-3 学科出題根拠

(1) 標準問題集から出題	(2) 標準問題集を参考に出題	(3) 独自に作成	(4) その他	無回答
58	150	204	47	31

→ 標準問題集からの出題が約12%と少ない。

問2-4 学科採点基準

(1) 加点法	(2) 減点法	(3) 1/2 減点法	(4) その他	無回答
166	64	248	6	6

→ 約半数の科が1/2 減点法を取っている。

問2-5 実技内容

(1) 独自に作成	(2) 技能検定2級過去問題	(3) 現技能検定2級に準拠	(4) その他	無回答
345	12	71	54	8

→ 独自に作成している科が多い(約70%)。

問2-6 実技試験時間

(1) 独自に設定	(2) 技能検定2級過去問題	(3) 現技能検定2級に準拠	(4) その他	無回答
356	9	68	52	5

→ 独自に設定している科が多い(約73%)。

問2-7 実技採点基準

(1) 独自に設定	(2) 技能検定2級過去問題	(3) 現技能検定2級に準拠	(4) その他	無回答
357	6	69	52	6

→ 独自に設定している科が多い(約73%)。

1-3. 合格率

過去3ヶ年の合格率平均値(概ねの割合)について

問3-1 学科のみの合格率

(1) 75%以下	(2) ~85%	(3) ~95%	(4) ~100%	無回答
65	63	126	232	4

→ 約47%の科が、95%を超える合格率を達成している。

問3-2 実技のみの合格率

(1) 75%以下	(2) ~85%	(3) ~95%	(4) ~100%	無回答
58	54	127	247	4

→ 約50%の科が、概ね95%を超える合格率を達成している。

問3-3 総合合格率

(1) 75%以下	(2) ~85%	(3) ~95%	(4) ~100%	無回答
74	84	124	207	1

→ 約42%の科が、概ね95%を超える合格率を達成している。

1-4. 訓練修了後の追跡調査

修了後の追跡調査等で、技能士補の活用事例、受検状況、合格率等の把握状況

問4-1 技能士補（称号）の活用状況

(1) 把握できている	(2) 把握できていない	(3) どちらとも言えない	無回答
60	329	99	2

→ 約12%の科が修了生の活用状況を把握できている。

問4-2 訓練修了後の技能検定の受検状況

(1) 把握できている	(2) 把握できていない	(3) どちらとも言えない	無回答
76	315	97	2

→ 約15%の科が修了生の受検状況を把握できている。

問4-3 訓練修了後の技能検定の合格率

(1) 把握できている	(2) 把握できていない	(3) どちらとも言えない	無回答
68	326	94	2

→ 約14%の科が修了生の技能検定の合否を把握できている。

1-5. 技能照査標準問題集等

標準問題集改訂の要望、協力の可否等について

問5-1 標準問題集の改訂

(1) 希望する	(2) 希望しない	(3) 標準問題集がなく作成を希望する	(4) 標準問題集はないが希望しない
206	130	72	82

→ 標準問題集の改訂もしくは新規作成の要望は約57%である。

問5-2 作成委員会への指導員の参加協力

(1) できる	(2) できない	無回答
64	422	4

→ 作成委員会への参加協力可能な科は約13%。

問5-3 実際使用している問題の提供

(1) できる	(2) できない	(3) 秘匿条件付き でできる	無回答
100	266	117	7

→ 使用問題の提供ができる科は約20%、秘匿条件付きを入れて約44%。

1-6. 指導員研修（問題作成）

指導員研修に技能照査問題作成に関するコースを新設する希望について

問6-1 初歩的な学科問題作成

(1) 希望する	(2) 希望しない
98	392

→ 希望する科は、20%。

問6-2 標準問題集レベルの問題作成

(1) 希望する	(2) 希望しない
115	375

→ 希望する科は、約23%。

1-7. 技能検定等能力評価制度との関係

訓練を担当している指導員の当該制度に対する認識度等について

問7-1 制度に関する指導員の認知度

(1) よく知っている	(2) 知っている	(3) 大体知っている	(4) 知らない	無回答
109	158	143	77	3

→ 約16%の指導員が知らない。

問7-2 職業訓練を実施する上での、技能検定問題の活用度合い

(1) よく活用している	(2) 活用している	(3) あまり活用して いない	(4) 活用していない	無回答
79	161	89	159	2

→ 約半数の指導員は、積極的には活用していない。

問7-3 訓練生に対して指導員による技能検定受検勧奨

(1) 実施している	(2) 実施していない	(3) その他	無回答
258	185	45	2

→ 半数以上の指導員は受検勧奨している。

問7-4 技能五輪予選会において優秀な成績を収めると技能検定2級の実技合格証を取得できる制度があること

(1)知っている	(2)知らない	無回答
335	153	2

→ 約3割の指導員は、この制度を知らない。

## 1-8. 技能検定等能力評価制度に対するご意見・ご要望

問8-1 技能士補となっても技能検定実施職種がなく、学科試験免除のメリットがない

(1)強く思う	(2)思う	(3)思わない	無回答
117	169	199	5

→ 約4割の科が、学科免除のメリットを感じていない。

問8-2 技能検定問題解説集の整備

(1)強く要望	(2)あるとよい	(3)必要ない	無回答
91	281	116	2

→ 約76%の科が、技能検定問題解説集を希望している。

問8-3 その他のご意見・ご要望

(別紙「技能照査実施状況調査(質問及び回答結果)」に記載)

## 2. 調査結果

### 2-1. 技能照査の実施

技能照査の実施については、全員に対して実施(例外数件あり)しており、時期も概ね修了前2カ月であった。技能照査実施要項どおりに実施されていた。

また、技能照査の実施については、組織化されている科が少なかった。技能照査を試験と位置付ける場合、個別の担当指導員にのみ責務を負わせるのではなく、校として組織化し対応することで「技能照査」が対外的な資格制度として認知される可能性がある。

### 2-2. 試験問題

試験問題のうち、学科問題は、真偽法100問で1/2減点法を採用している科が多い。技能照査実施要領によれば、出題数の大半が真偽法(二者択一法)の場合、1/2減点法を採用することとなっており、多肢択一法や加点法での出題も可能であるが、本調査結果では、大半が従来の形式を取っていることが分かった。

技能検定が真偽法と多肢択一法で出題しているため(3級以下は真偽法)、技能照査においても同様の形での出題方式を取っている科があることが推測される。

また、標準問題集から出題している科が少ない結果となったのは、標準問題集が作成されている訓練科が少ないことが要因であったと考えられる。基盤整備センター調べでは、約20科分が整備・公開されている。

実技に関しては、各施設で実施形態が異なるため、各校・各科の訓練カリキュラムに基づき独自に設定している。

検定職種に係る科は、技能検定課題に準拠し、他省庁の資格試験に係る科は、その試験科目に準拠し、「その他」と回答している。

### 2-3. 合格率

合格率は、85%を超える高率となっている半面、1割を超える科において75%以下との回答となっていることについて、その要因を分析する必要も感じられる。

#### 2-4. 追跡調査

技能士補（称号）の活用状況、修了後の技能検定の受検状況、修了後の技能検定の合格率についての追跡調査は、ほとんどの科において把握できていない。

修了後の就職先での定着度合いのフォロー調査は、一般的に実施されているが、今回の調査項目まで実施しているところは少なかった。

これら追跡調査結果を把握できている科について、その実態調査を好事例として追加ヒアリング調査することも検討に値する。

#### 2-5. 技能照査標準問題集

標準問題集の必要性は、約6割の科が望んでおり、それに資する委員会の開催と問題作成作業については、一定の成果となりうる。一方で残り4割の科が希望していないことは、各科にて蓄積している問題があることで、改めての再作成を強くは望んでいないことが推測される。

また、問題作成委員会を設置した場合、問題作成に協力できる回答が少なく、取り組むことは実現しづらい回答結果となっている。

しかしながら、少数ではあるが参加協力や問題提供を可とする回答もあることから、この芽を摘まないように発展的な問題作成機能を模索することも必要である。

#### 2-6. 問題作成研修

約2割の要望となった。参考となる問題作成方法があるとよいが、改めて研修までは必要ないとの回答が多いことになる。

これも技能照査標準問題集の作成協力の項目と同様、少数であるが希望する回答であることから、研修の実施を検討してみる価値はある。

#### 2-7. 技能検定等能力評価制度との関係

あまり制度を知らない、活用度合いが低い等は、職業訓練科と関連する技能検定職種の有無によると想定される。

#### 2-8. 技能検定等能力評価制度に対するご意見・ご要望

職業訓練基準の見直しに係るアンケートで、同様の意見が散見されていたが、改めて質問すると、同様の意見が多いことが分かった。

技能照査問題集よりも、技能検定問題解説集の要望のほうが多かった。

### Ⅲ. 調査票

（別添参照）

## 技能照査実施状況調査について

### ① アンケートの主旨・目的

技能照査の合格者（技能士補）は、技能検定制度において学科試験免除の対象者とされており、また、職業訓練修了を技能検定の受検資格、免除要件に活用、技能検定合格を職業訓練指導員試験免除資格としているなど、職業訓練と技能検定制度は密接不可分の制度設計になっています。

現在、基盤整備センター教材開発室では、技能照査の実施及びその活用状況等を把握し、技能照査の水準の考え方を確認するとともに、職業訓練における能力評価の取組みやその活用に係る課題等を整理し、技能検定等評価制度の活用促進の検討に資する目的で職業訓練の評価水準に関する基礎研究に取り組んでおり、今回の調査は技能照査の実施状況を把握する目的で実施しております。

### ② 送付資料

- ・技能照査実施状況調査について（本用紙）
- ・公共職業能力開発施設用質問用紙
- ・公共職業能力開発施設用回答用紙（様式1）・・・施設数分複数枚
- ・認定職業訓練校用回答用紙（様式2）・・・一覧表1枚

### ③ 回答方法

- ・各都道府県職業能力開発主管課で技能照査を担当されている方をお願いします。

#### 【様式1について】

- ・様式1は、各都道府県で所掌されている公共職業能力開発施設用です。
- ・1施設1枚となっています。
- ・質問用紙の問1-1から問8-3の全28問の回答欄を設けています。
- ・施設共通の回答の場合は、記入欄Aに記入してください。各科ごとの記入は不要です。
- ・訓練科により異なる回答の場合は、記入欄Bに記入してください。

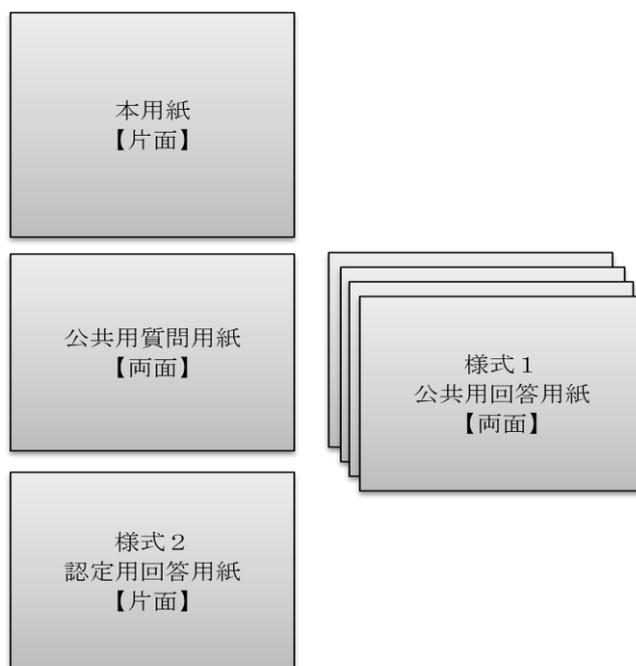
#### 【様式2について】

- ・様式2は、認定職業訓練校用です。
- ・今年度、技能照査実施申請のあった施設名と対象訓練科名を記入してください。
- ・様式2に代わる資料がありましたら代用可能です。そちらをお送りください。

### ④ 提出方法

- ・平成28年 月 日( )までにご返信ください。
- ・同封の返信用封筒をご利用ください。

<送付資料のイメージ図>



## 技能照査実施状況調査票(質問用紙) 公共職業能力開発施設用

資料「技能照査実施状況調査について」をお読みいただき、各設問について、別紙回答用紙にご回答ください。

## ①技能照査の実施について

技能照査の実施概要として、対象、実施時期、委員会設置についてお答えください。

問1-1	・実施対象(不測の事故による者を除く)	(1) 全員	(2) 希望者のみ	(3) 技能検定関連職種のみ	(4) 実施していない
問1-2	・時期	(1) 修了前4ヶ月	(2) 修了前3ヶ月	(3) 修了前2ヶ月	(4) 修了月
問1-3	・実施委員会等の運営組織設置	(1) 有り	(2) なし		

## ②試験問題について

学科問題の問題数、出題元、採点方法、及び、実技問題の内容、試験時間、採点基準等の概要についてお答えください。

問2-1	・学科問題数	(1) 50問未満	(2) 50～99問	(3) 100問	(4) 101問以上
問2-2	・うち真偽法(二肢択一法含む)の割合	(1) 25%未満	(2) 25～50%	(3) ～75%	(4) ～100%
問2-3	・学科出題根拠	(1) 標準問題集から出題	(2) 標準問題集を参考に	(3) 独自に作成	(4) その他
問2-4	・学科採点基準	(1) 加点法	(2) 減点法	(3) 1/2減点法	(4) その他
問2-5	・実技内容	(1) 独自に作成	(2) 技能検定2級過去問題	(3) 現技能検定2級に準拠	(4) その他
問2-6	・実技試験時間	(1) 独自に設定	(2) 技能検定2級過去問題	(3) 現技能検定2級に準拠	(4) その他
問2-7	・実技採点基準	(1) 独自に設定	(2) 技能検定2級過去問題	(3) 現技能検定2級に準拠	(4) その他

## ③合格率について

過去3ヶ年の平均値を概ねの割合でお答えください。

問3-1	・学科のみの合格率	(1) 75%以下	(2) ～85%	(3) ～95%	(4) ～100%
問3-2	・実技のみの合格率	(1) 75%以下	(2) ～85%	(3) ～95%	(4) ～100%
問3-3	・総合合格率	(1) 75%以下	(2) ～85%	(3) ～95%	(4) ～100%

## ④訓練修了後の追跡調査について

修了後の追跡調査等で、技能士補の活用事例、受検状況、合格率等の把握状況をお答えください。

問4-1	・技能士補(称号)の活用状況	(1) 把握できている	(2) 把握できていない	(3) どちらとも言えない
問4-2	・訓練修了後の技能検定の受検状況	(1) 把握できている	(2) 把握できていない	(3) どちらとも言えない
問4-3	・訓練修了後の技能検定の合格率	(1) 把握できている	(2) 把握できていない	(3) どちらとも言えない

## ⑤技能照査標準問題集等について

標準問題集改訂の要望、協力の可否等をお答えください。

問5-1	・標準問題集の改訂	(1) 希望する	(2) 希望しない	(3) 標準問題集がなく作成を希望する	(4) 標準問題集はないが希望しない
問5-2	・作成委員会への指導員の参加協力	(1) できる	(2) できない		
問5-3	・実際使用している問題の提供	(1) できる	(2) できない	(3) 秘匿条件付きでできる	

## ⑥指導員研修について

指導員研修に技能照査問題作成に関するコースを新設する希望があるかをお答えください。

問6-1	・初歩的な学科問題作成	(1) 希望する	(2) 希望しない	
問6-1	・標準問題集レベルの問題作成	(1) 希望する	(2) 希望しない	

## ⑦技能検定等能力評価制度との関係について

訓練を担当している指導員の当該制度に対する認識等についてお答えください。

問7-1	・制度に関する指導員の認知度	(1) よく知っている	(2) 知っている	(3) 大体知っている	(4) 知らない
問7-2	・職業訓練を実施する上での、技能検定問題の活用度合い	(1) よく活用している	(2) 活用している	(3) あまり活用していない	(4) 活用していない
問7-3	・訓練生に対して指導員による技能検定受検勧奨	(1) 実施している	(2) 実施していない	(3) その他	
問7-4	・技能五輪予選会において優秀な成績を収めると技能検定2級の実技合格証を取得できる制度があること	(1) 知っている	(2) 知らない		

## ⑧技能検定等能力評価制度に対するご意見・ご要望について

基盤整備センターがこれまでに実施している訓練基準の見直しアンケートの回答に、下記「問8-1」、「問8-2」などのご意見を頂いております。技能照査及び技能検定に関する他のご意見・ご要望を含め、お答えください。

問8-1	技能士補となっても技能検定実施職種がなく、学科試験免除のメリットがない	(1) 強く思う	(2) 思う	(3) 思わない	
問8-2	技能検定問題解説集の整備	(1) 強く要望	(2) あるとよい	(3) 必要ない	
問8-3	その他のご意見・ご要望	自由記述			

技能照査実施状況調査票(回答用紙) 公共用

施設名: ○○高等技術専門学院

回答方法: 各設問ごとに、該当する番号に印をつけてください。  
 調査対象科名には長期間の訓練である、専門課程又は普通課程の訓練科で当方が把握している科名を記載しています。  
 (注)科名は、厚生労働省の施設一覧に記載されている科名を記載しますので、実際の科名と異なる場合があります。  
 (1)該当しない訓練科でしたら、科名を斜線で消してください。  
 (2)該当科名に漏れがありましたら、科名を記入してください。  
 (3)専門課程又は普通課程以外で実施対象科があれば、科名を記入し、その先頭に※印を付加してください。

	A欄 全科共通の場合 ↓こちらに記入	B欄 ↓設置科ごとに異なる場合 科別はこちらに記入 ↓						
		○○科	○○科	○○科	○○科	○○科	○○科	○○科
問1-1	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問1-2	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問1-3	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)
問2-1	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問2-2	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問2-3※	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問2-4※	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問2-5※	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問2-6※	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問2-7※	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
※問2-3～問2-7にて「(4)その他」を選択された場合、具体的な事項がありましたら記入してください								
問3-1	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問3-2	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問3-3	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問4-1	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
問4-2	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
問4-3	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)

(裏面)

○○高等技術専門学院

	A欄 全科共通の場合 ↓こちらに記入	B欄 ↓設置科ごとに異なる場合 科別はこちらに記入 ↓						
		○○科	○○科	○○科	○○科	○○科	○○科	○○科
問5-1	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問5-2	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)
問5-3	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
問6-1	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)
問6-2	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)
問7-1	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問7-2	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)	(1) (2) (3) (4)
問7-3	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
問7-4	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)
問8-1	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
問8-2	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)	(1) (2) (3)
問8-3 (自由記述)								



# 技能照査実施状況調査票（質問及び回答結果）

都道府県立公共職業能力開発施設

別紙

※ [ ]は、回答数を示す。

## ①技能照査の実施について

技能照査の実施概要として、対象、実施時期、委員会設置についてお答えください。

問1-1	実施対象（不測の事故による者を除く）	(1)全員 [ 489 ] (2)希望者のみ [ 1 ] (3)技能検定関連職種のみ [ ] (4)実施していない [ ]
問1-2	時期	(1)修了前4ヶ月 [ 2 ] (2)修了前3ヶ月 [ 11 ] (3)修了前2ヶ月 [ 435 ] (4)修了月 [ 39 ]
問1-3	実施委員会等の運営組織設置	(1)あり [ 124 ] (2)なし [ 365 ]

## ②試験問題について

学科問題の問題数、出題元、採点方法、及び、実技問題の内容、試験時間、採点基準等の概要についてお答えください。

問2-1	学科問題数	(1)50問未満 [ 16 ] (2)50～99問 [ 102 ] (3)100問 [ 341 ] (4)101問以上 [ 31 ]
問2-2	うち真偽法（二肢択一法含む）の割合	(1)25%未満 [ 99 ] (2)25～50% [ 40 ] (3)～75% [ 23 ] (4)～100% [ 327 ]
問2-3	学科出題根拠	(1)標準問題集から出題 [ 58 ] (2)標準問題集を参考に出題 [ 150 ] (3)独自に作成 [ 204 ] (4)その他 [ 47 ]
問2-4	学科採点基準	(1)加算法 [ 166 ] (2)減点法 [ 64 ] (3)1/2減点法 [ 248 ] (4)その他 [ 6 ]
問2-5	実技内容	(1)独自に作成 [ 345 ] (2)技能検定2級過去問題 [ 12 ] (3)現技能検定2級に準拠 [ 71 ] (4)その他 [ 54 ]
問2-6	実技試験時間	(1)独自に設定 [ 356 ] (2)技能検定2級過去問題 [ 9 ] (3)現技能検定2級に準拠 [ 68 ] (4)その他 [ 52 ]
問2-7	実技採点基準	(1)独自に設定 [ 357 ] (2)技能検定2級過去問題 [ 6 ] (3)現技能検定2級に準拠 [ 69 ] (4)その他 [ 52 ]

## ③合格率について

過去3年の平均値を概ねの割合でお答えください。

問3-1	学科のみの合格率	(1)75%以下 [ 65 ] (2)～85% [ 63 ] (3)～95% [ 126 ] (4)～100% [ 232 ]
問3-2	実技のみの合格率	(1)75%以下 [ 58 ] (2)～85% [ 54 ] (3)～95% [ 127 ] (4)～100% [ 247 ]
問3-3	総合合格率	(1)75%以下 [ 74 ] (2)～85% [ 84 ] (3)～95% [ 124 ] (4)～100% [ 207 ]

## ④訓練修了後の追跡調査について

修了後の追跡調査等で、技能士補の活用事例、受検状況、合格率等の把握状況をお答えください。

問4-1	技能士補（称号）の活用状況	(1)把握できている [ 60 ] (2)把握できていない [ 329 ] (3)どちらとも言えない [ 99 ]
問4-2	訓練修了後の技能検定の受検状況	(1)把握できている [ 76 ] (2)把握できていない [ 315 ] (3)どちらとも言えない [ 97 ]
問4-3	訓練修了後の技能検定の合格率	(1)把握できている [ 68 ] (2)把握できていない [ 326 ] (3)どちらとも言えない [ 94 ]

## ⑤技能照査標準問題集等について

標準問題集改訂の要望、協力の可否等をお答えください。

問5-1	標準問題集の改訂	(1)希望する [ 206 ] (2)希望しない [ 130 ] (3)標準問題集がなく作成を希望する [ 72 ] (4)標準問題集はないが希望しない [ 82 ]
問5-2	作成委員会への指導員の参加協力	(1)できる [ 64 ] (2)できない [ 422 ]
問5-3	実際使用している問題の提供	(1)できる [ 100 ] (2)できない [ 266 ] (3)秘匿条件付きでできる [ 117 ]

## ⑥指導員研修について

指導員研修に技能照査問題作成に関するコースを新設する希望があるかをお答えください。

問6-1	初歩的な学科問題作成	(1)希望する [ 98 ] (2)希望しない [ 392 ]
問6-2	標準問題集レベルの問題作成	(1)希望する [ 115 ] (2)希望しない [ 375 ]

## ⑦技能検定等能力評価制度との関係について

訓練を担当している指導員の当該制度に対する認識度等についてお答えください。

問7-1	制度に関する指導員の認知度	(1)よく知っている [ 109 ] (2)知っている [ 158 ] (3)大体知っている [ 143 ] (4)知らない [ 77 ]
問7-2	職業訓練を実施する上で、技能検定問題の活用度合い	(1)よく活用している [ 79 ] (2)活用している [ 161 ] (3)あまり活用していない [ 89 ] (4)活用していない [ 159 ]
問7-3	訓練生に対して指導員による技能検定受検勧奨	(1)実施している [ 258 ] (2)実施していない [ 185 ] (3)その他 [ 45 ]
問7-4	技能五輪予選会において優秀な成績を収めると技能検定2級の実技合格証を取得できる制度があること	(1)知っている [ 335 ] (2)知らない [ 153 ]

## ⑧技能検定等能力評価制度に対するご意見・ご要望について

基盤整備センターがこれまでに実施している訓練基準の見直しアンケートの回答に、下記「問8-1」、「問8-2」などのご意見をいただいております。

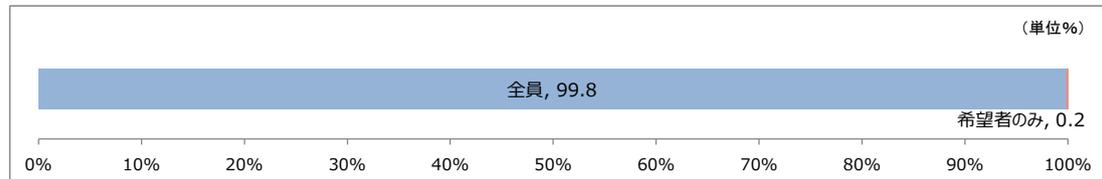
問8-1	技能士補となっても技能検定実施職種がなく、学科試験免除のメリットがない	(1)強く思う [ 117 ] (2)思う [ 169 ] (3)思わない [ 199 ]
問8-2	技能検定問題解説集の整備	(1)強く要望 [ 91 ] (2)あるとよい [ 281 ] (3)必要ない [ 116 ]
問8-3	その他のご意見・ご要望	自由記述

①技能照査の実施について

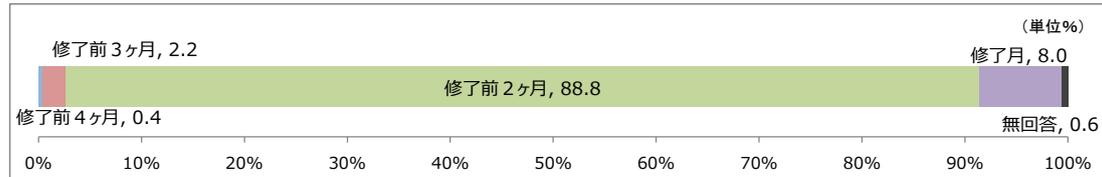
(N = 490)

技能照査の実施概要として、対象、実施時期、委員会設置についてお答えください。

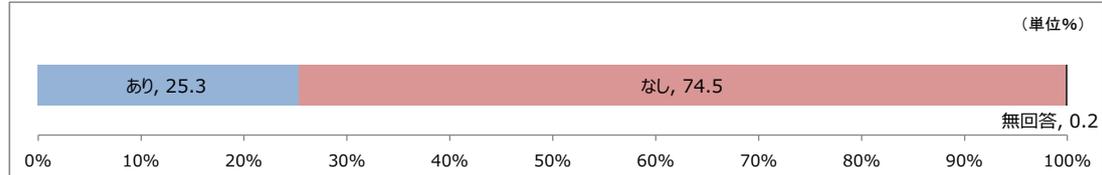
問1-1 実施対象（不測の事故による者を除く）



問1-2 時期



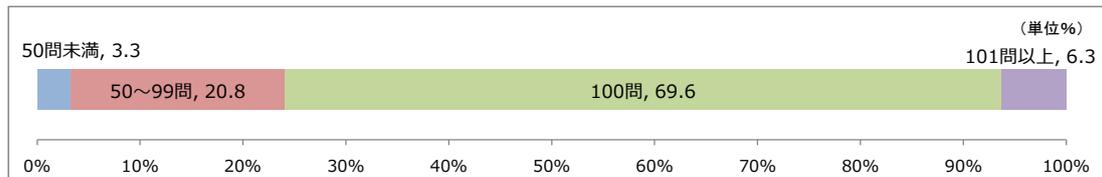
問1-3 実施委員会等の運営組織設置



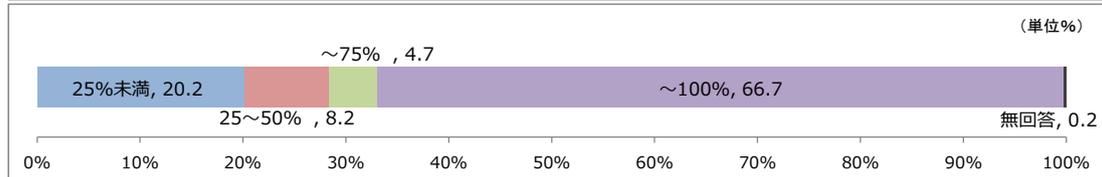
②試験問題について

学科問題の問題数、出題元、採点方法、及び、実技問題の内容、試験時間、採点基準等の概要についてお答えください。

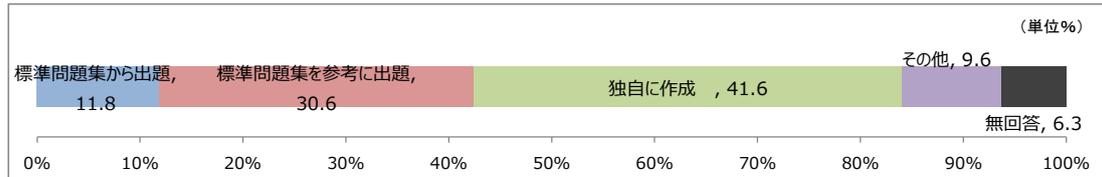
問2-1 学科問題数



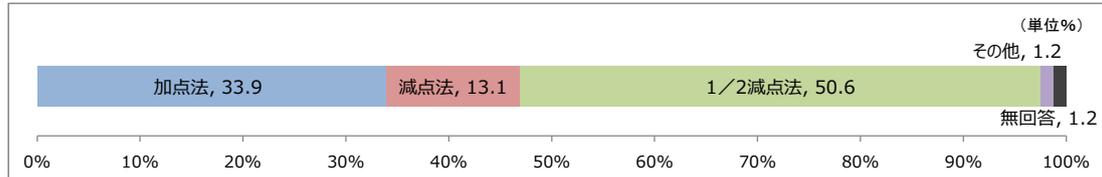
問2-2 うち真偽法（二肢択一法含む）の割合



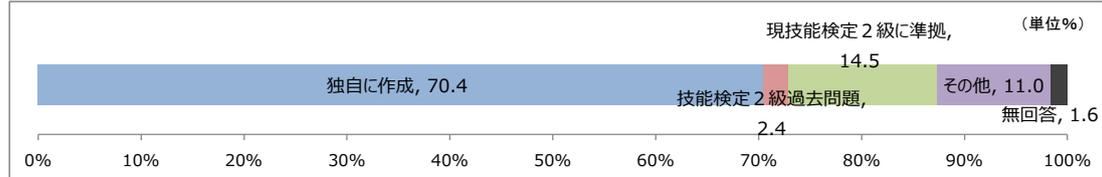
問2-3 学科出題根拠



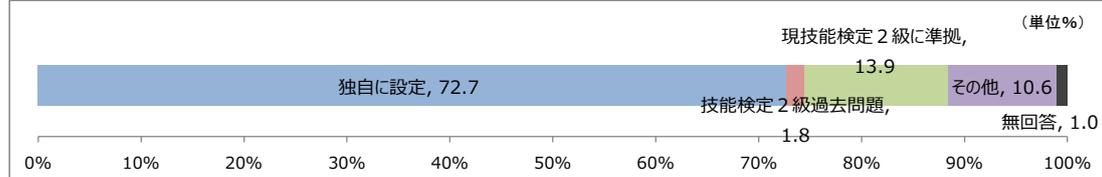
問2-4 学科採点基準



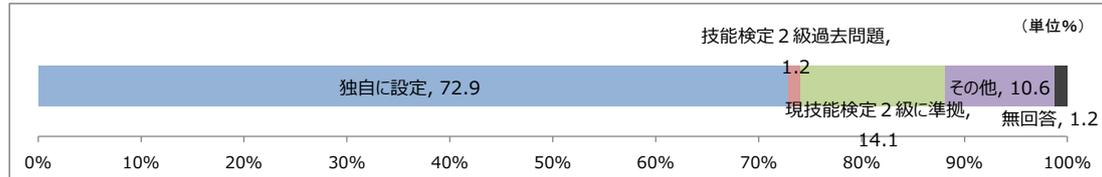
問2-5 実技内容



問2-6 実技試験時間



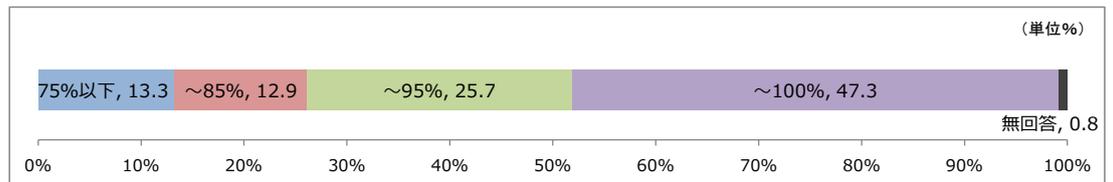
問2-7 実技採点基準



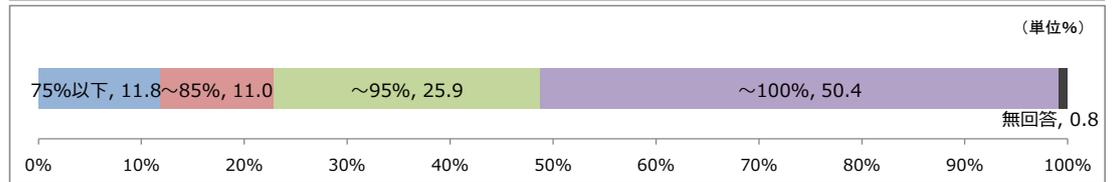
③合格率について

過去3ヶ年の平均値を概ねの割合でお答えください。

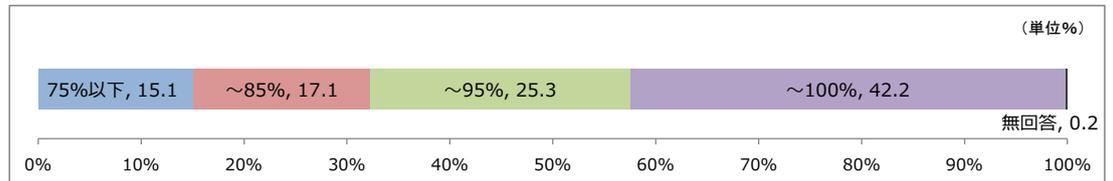
問3-1 学科のみの合格率



問3-2 実技のみの合格率



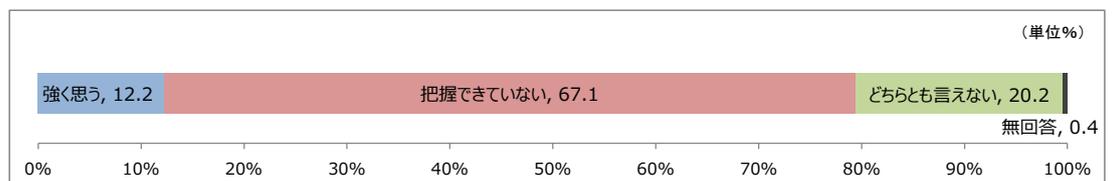
問3-3 総合合格率



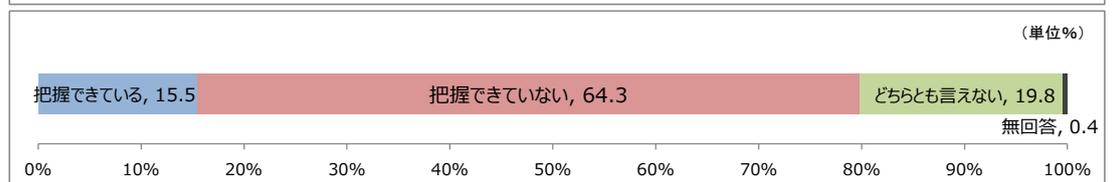
④訓練修了後の追跡調査について

修了後の追跡調査等で、技能士補の活用事例、受検状況、合格率等の把握状況をお答えください。

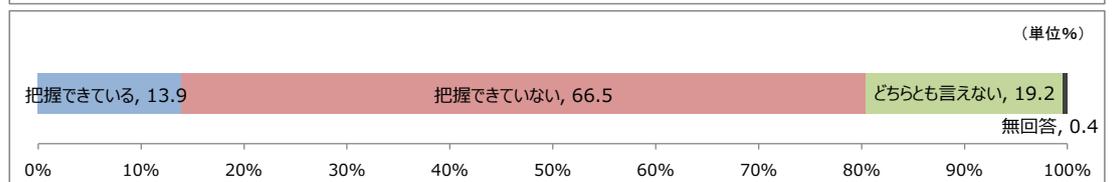
問4-1 技能士補（称号）の活用状況



問4-2 訓練修了後の技能検定の受検状況



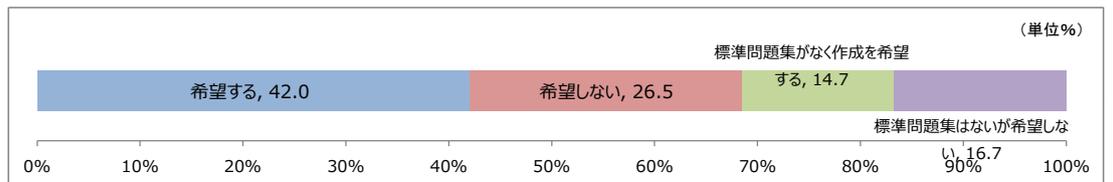
問4-3 訓練修了後の技能検定の合格率



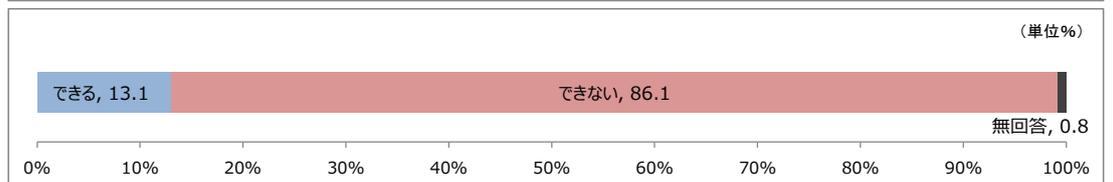
⑤技能照査標準問題集等について

標準問題集改訂の要望、協力の可否等をお答えください。

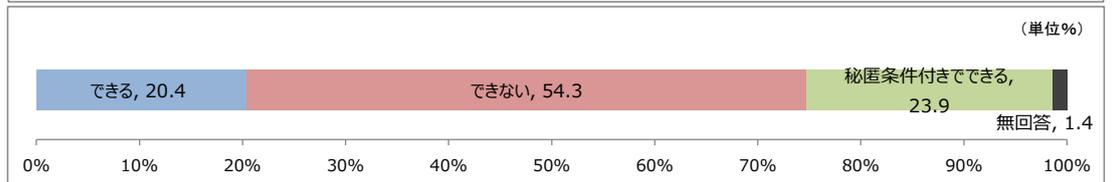
問5-1 標準問題集の改訂



問5-2 作成委員会への指導員の参加協力



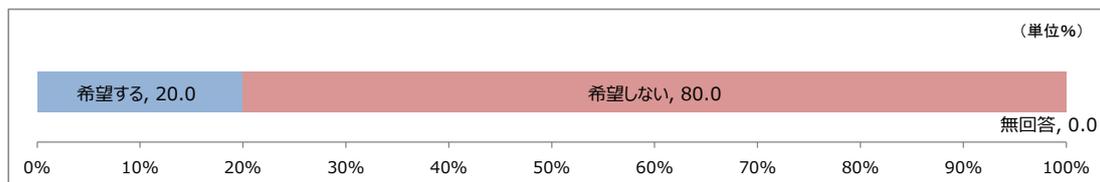
問5-3 実際使用している問題の提供



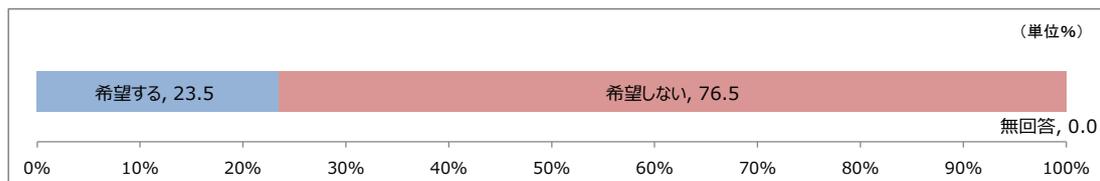
⑥ 指導員研修について

指導員研修に技能照査問題作成に関するコースを新設する希望があるかをお答えください。

問6-1 初歩的な学科問題作成



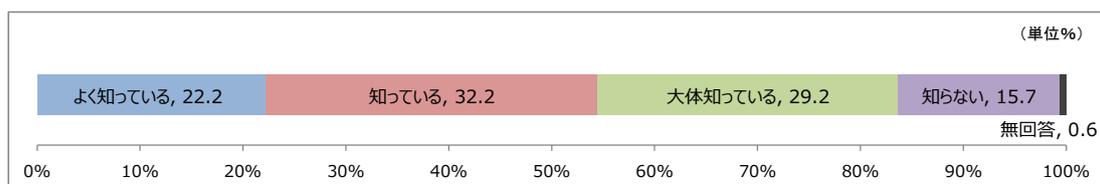
問6-2 標準問題集レベルの問題作成



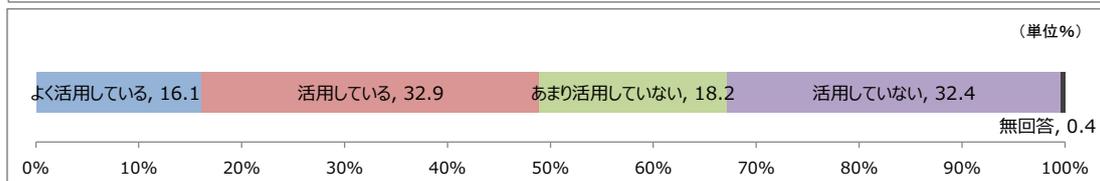
⑦ 技能検定等能力評価制度との関係について

訓練を担当している指導員の当該制度に対する認識度等についてお答えください。

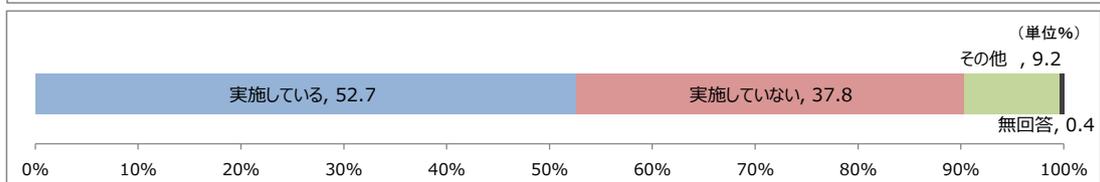
問7-1 制度に関する指導員の認知度



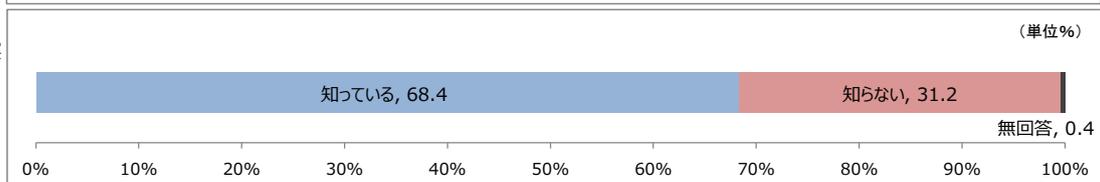
問7-2 職業訓練を実施する上での、技能検定問題の活用度合い



問7-3 訓練生に対して指導員による技能検定受検勧奨



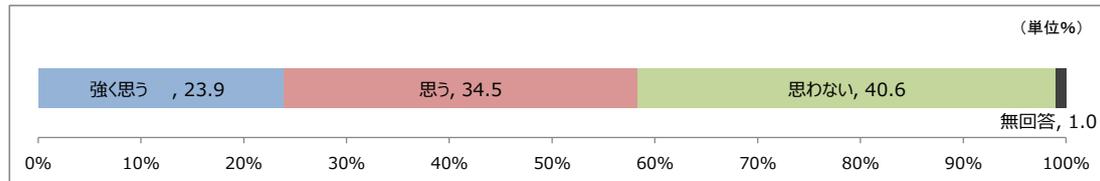
問7-4 技能五輪予選会において優秀な成績を収めると技能検定2級の実技合格証を取得できる制度があること



⑧ 技能検定等能力評価制度に対するご意見・ご要望について

基盤整備センターがこれまでに実施している訓練基準の見直しアンケートの回答に、下記「問8-1」、「問8-2」などのご意見をいただいております。技能照査及び技能検定に関する他のご意見・ご要望を含め、お答えください。

問8-1 技能士補となっても技能検定実施職種がなく、学科試験免除のメリットがない



問8-2 技能検定問題解説集の整備



## 問 2-3 から 2-7（その他と回答した内容）

「その他と回答した内容」について、問題作成の際に参考としている問題集等をパターン化し、以下にまとめる。

- 標準問題集と独自問題
- 標準問題集と技能検定問題（問題解説集、技能検定 2 級の過去問題等）
- 技能検定以外の資格試験問題  
（※ 第 2 種電気工事士、2 級自動車整備士、2 級建築士、情報技術者等）

## 問 8-3（その他のご意見・ご要望）

「共通回答」及び「訓練課程又は訓練系ごとの回答」を以下にまとめる。

なお、一部の回答については、分かりやすい表現へ修正し、重複する内容は統合したこと。

- 共通回答（普通課程、専門課程）
  - ・ 訓練科に相当する技能検定職種がない。（技能検定制度が廃止となったものを含む。）  
（※ 訓練科：溶接、コンピュータ制御、電気工事、自動車整備、織機調整、理美容、ソフトウェア管理、OA システム等）
  - ・ 技能検定の受検料が高い。
  - ・ 技能五輪大会への出場、かつ優秀な成績により、2 級の技能検定実技試験合格証を得られるが、大会への出場要件には年齢制限がある。また、大会出場者以外には一定の実務経験年数が受検要件となっており、本制度には課題がある。
  - ・ 標準問題集がない、又は標準問題集の改正やその解説集が必要である。  
（※ 訓練系：機械、電力、第二種自動車、印刷・製本、建築施工、設備施工、メカトロニクス）
  - ・ 業界によっては、技能検定よりも、他の資格のほうが認知、優遇されている。  
（※ JIS 溶接士、第 2 種電気工事士、2 級自動車整備士、PC デザイン系ソフトの資格、情報処理技術者）
  - ・ 2 年制の訓練において、訓練受講中に技能検定 2 級を取得することができるようにしてほしい。

### 【普通課程】

- 園芸サービス系
  - ・ 技能五輪予選大会の成績優秀者について、技能検定 2 級の実技合格証ではなく、1 級の合格証のほうがよい。
  - ・ 技能士補の学科試験免除は、大いにメリットがある。
- 電力系
  - ・ 業界においても資格に重きをおいているところではあるが、技能検定と関連性が出てくるとありがたい。

- ・ 電気工事科の「教科の細目」と「技能照査の基準の細目」に整合性がない。
- 第二種自動車系
    - ・ 内燃機関科の学科免除となっているが、修了生の受検者はいない。また、農業機械、建設機械等のほうが受検者も多く、修了生も関係職種に就職していることが多いため、技能検定職種の免除規定を設けてほしい。
  - 製織系
    - ・ 訓練生の今後を想定すれば、タオルに関する問題・課題を当然のことながら技能照査問題に加えるべきである。ただし、国内唯一の訓練科でもあるため、現状は、ほぼ独自の問題や目標を設定しての訓練である。
  - 裁縫系
    - ・ 用語の意味、捉え方が従来とは異なっているため、全国で実施する技能検定の問題の見直しが必要であると思われる。
  - 建築施工系
    - ・ 平成 18 年度から建築大工 3 級が新設されたことで、「技能士補」の位置づけが難しくなった。業界に対しても、2 級・3 級技能士のほうが、知名度があり「技能士補」の「補」によって理解度が低い。
  - 設備施工系
    - ・ 技能照査よりも、技能検定のほうが難易度は低いと感じる。
    - ・ 冷凍空気調和機器施工では、フロン法に必要な資格として技能士であることを明記するなど、技能検定が社会的に貢献する仕組みや制度を確立する必要がある。
  - デザイン系
    - ・ 看板業界（広告美術）は、業務内容が多岐にわたり、材料や施工方法、出力機器の発展も早く、技能検定（粘着シート仕上げ）の課題自体が現在のニーズにマッチしていないと感じている。
    - ・ アナログ（手書き）デザインからデジタル（PC ソフト）デザインまで範疇が広く、訓練生の進路によって重要度が異なる。
    - ・ 障がい者の特性に応じて、試験時間を延長している。（30 分）
  - 理容・美容系
    - ・ 理美容という職種を考えた場合、理容師（美容師）免許のみだけでなく、例えばシェービング技術ができれば 3 級、カッティング技術ができれば 2 級というような検定を新設してもらえれば、職業訓練の幅や就職時に活用できるのではないかと考える。

○ メカトロニクス系

- ・ メカトロニクス科は、技能士補になると技能検定の学科免除が、機械加工科のみである。電気・電子系や制御系等、幅広く学んでいるため、電子機器組立てや機械保全（機械系保全、電気系保全）等の職種でも学科免除を適用してほしい。
- ・ 技能検定の一部の職種について、その実施を法人等に移管しているが、実施トラブルも多く、試験会場も現状に対応していない。公的機関である職業能力開発協会での実施に戻してほしい。

○ 第一種情報処理系

- ・ 当該科目の技能検定を年 2 回程度実施できれば、求人が増加するのではないかと思う。

**【専門課程】**

○機械システム系

- ・ 生産技術科では、旋盤 3 級又はフライス盤 3 級のどちらかと、機械製図 3 級の両方に合格した場合、技能照査実技を合格としている。

都道府県別 認定職業訓練施設 技能照査実施状況調査（実施申請施設一覧）平成27年度調べ

No	県番	都道府県名	施設名	訓練科名1	訓練科名2	訓練科名3	訓練科名4	訓練科名5	訓練科名6	訓練科名7	訓練科名8	訓練科名9	訓練科名10
1	02	青森	八戸職業能力開発校	塑性加工科	木造建築科								
2	02	青森	三沢職業能力開発校	左官・タイル施工科									
3	02	青森	弘前職業能力開発校	建築板金科	木造建築科	左官・タイル施工科	建築塗装科						
4	02	青森	あおもりコンピュータ・カレッジ	情報システム科									
5	03	岩手	岩手中央高等職業訓練校	塑性加工科	左官・タイル施工科	建築塗装科							
6	03	岩手	釜石高等職業訓練校	木造建築科	建築設計科	配管科							
7	03	岩手	宮古高等職業訓練校	木造建築科	建築設計科								
8	03	岩手	花巻高等職業訓練校	木造建築科	左官・タイル施工科	配管科	建築板金科						
9	03	岩手	北上高等職業訓練校	建築板金科	建築塗装科								
10	03	岩手	水沢高等職業訓練校	木造建築科									
11	03	岩手	江刺高等職業訓練校	木造建築科	配管科								
12	03	岩手	一関高等職業訓練校	配管科									
13	03	岩手	東磐高等職業訓練校	木造建築科	配管科	塑性加工科							
14	03	岩手	気仙高等職業訓練校	木造建築科	建築設計科								
15	03	岩手	二戸高等職業訓練校	木造建築科	建築設計科	左官・タイル施工科							
16	03	岩手	久慈高等職業訓練校	木造建築科	塑性加工科	左官・タイル施工科							
17	03	岩手	遠野高等職業訓練校	木造建築科									
18	03	岩手	北上コンピュータアカデミー	プログラム設計科									
19	04	宮城	トヨタ自動車東日本株式会社 トヨタ東日本学園	製造設備科									
20	04	宮城	宮城県建設技能者訓練協会連合会 高等職業訓練校	木造建築科	塑性加工科	量科							
21	04	宮城	大崎地域高等職業訓練校	木造建築科	塑性加工科								
22	04	宮城	職業訓練法人 塩釜建設技能者訓練協会 高等職業訓練校	木造建築科									
23	04	宮城	職業訓練法人 白石建設職組合訓練協会 高等職業訓練校	木造建築科									
24	05	秋田	鹿角共同高等職業訓練校	インテリア・サービス科	塑性加工科								
25	05	秋田	北秋田共同高等職業訓練校	木造建築科									
26	05	秋田	秋田市共同高等職業訓練校	塑性加工科									
27	05	秋田	大曲仙北共同高等職業訓練校	木造建築科	建築板金科	建築塗装科							
28	06	山形	河北高等技能専門学校	建築板金科	左官・タイル施工科	木造建築科	建築塗装科						
29	06	山形	山形ヘアファッションスクール	美容科									
30	06	山形	米沢市高等技能専門学校	建築板金科	左官・タイル施工科	木造建築科	建築塗装科						
31	06	山形	長井高等職業訓練校	木造建築科									
32	06	山形	山形工科短期大学校	住居環境科									
33	06	山形	庄内職業高等専門学校	建築板金科	左官・タイル施工科	木造建築科							
34	07	福島	福島共同高等職業訓練校	木造建築科	建築塗装科	建築板金科	左官・タイル施工科						
35	07	福島	郡山高等職業能力開発校	木造建築科	建築板金科	建築塗装科	左官・タイル施工科						
36	07	福島	田村建築共同高等職業訓練校	木造建築科									
37	07	福島	白河地域高等職業訓練校	縫製科									
38	07	福島	会津共同高等職業訓練校	木造建築科									
39	07	福島	会津漆器技術後継者訓練校	漆器科									

No	県番	都道府県名	施設名	訓練科名1	訓練科名2	訓練科名3	訓練科名4	訓練科名5	訓練科名6	訓練科名7	訓練科名8	訓練科名9	訓練科名10
40	07	福島	いわき共同高等職業訓練校	建築設計科	左官・タイル施工科								
41	07	福島	増子建築職業能力開発校	木造建築科									
42	07	福島	いわきコンピュータ・カレッジ	システム設計科									
43	08	茨城	日立土浦高等職業訓練校	機械加工科	精密加工科	構造物鉄工科							
44	08	茨城	霞ヶ浦総合研修所高等職業訓練校	機械加工科	構造物鉄工科	建設機械整備科	金属塗装科						
45	08	茨城	ア-ト理美容高等職業訓練校	美容科									
46	08	茨城	江戸崎地区建築高等職業訓練校	木造建築科									
47	08	茨城	日立製作所日立工業専修学校	機械加工科									
48	08	茨城	結城地区建設高等職業訓練校	木造建築科									
49	08	茨城	県西地区下館建設高等職業訓練校	木造建築科									
50	08	茨城	水戸建築高等職業訓練校	木造建築科									
51	08	茨城	龍ヶ崎地区高等職業訓練校	木造建築科	とび科	板金科							
52	08	茨城	笠間地区建設高等職業訓練校	木造建築科									
53	08	茨城	茨城県量高等職業訓練校	量科									
54	08	茨城	匠きもの短期大学校	和裁技術科									
55	08	茨城	日立建設高等職業訓練校	木造建築科									
56	09	栃木	日立栃木高等職業訓練校	機械加工科									
57	09	栃木	ミツヨ技能開発センター	機械加工科	電子機器科								
58	09	栃木	富士通技術学院	電子機器科									
59	09	栃木	宇都宮共同高等産業技術学校	木造建築科	広告美術科	フワフ-装飾科							
60	09	栃木	足利市共同高等産業技術学校	木造建築科	建築設計科								
61	09	栃木	鹿沼共同高等産業技術学校	木造建築科	建築設計科	建築板金科	土木施工科						
62	09	栃木	栃木共同高等産業技術学校	木造建築科									
63	09	栃木	真岡共同高等産業技術学校	木造建築科									
64	09	栃木	佐野共同高等産業技術学校	木造建築科	建築設計科								
65	10	群馬	富士重工業株式会社 群馬製作所高等職業訓練校	自動車整備科	金属塗装科	塑性加工科	機械加工科						
66	10	群馬	株式会社 ミツバ認定高等職業訓練校	機械加工科	精密加工科	塑性加工科	電子機器科						
67	10	群馬	ヤマテクニカルスクール	配管科									
68	10	群馬	前橋高等職業訓練校	造園科									
69	10	群馬	高崎自動車整備学校	自動車整備科									
70	10	群馬	桐生高等職業訓練校	木造建築科									
71	10	群馬	伊勢崎佐波高等職業訓練校	とび科	配管科	機械加工科							
72	10	群馬	利根沼田地区高等職業訓練校	木造建築科									
73	10	群馬	渋川地区高等職業訓練校	木造建築科	建築板金科	鉄筋コンクリート施工科							
74	10	群馬	高崎建設高等職業訓練校	木造建築科									
75	10	群馬	太田地区高等職業訓練校	配管科	造園科								
76	10	群馬	館林地区高等職業訓練校	造園科									
77	10	群馬	社団法人 全国食肉学校	食肉加工科									
78	11	埼玉	ユニオン建設株式会社技術研修センター	土木施工科									
79	11	埼玉	蕨戸田建設高等職業訓練校	木造建築科									
80	11	埼玉	中央洋裁高等職業訓練校	洋裁科									

No	県番	都道府県名	施設名	訓練科名1	訓練科名2	訓練科名3	訓練科名4	訓練科名5	訓練科名6	訓練科名7	訓練科名8	訓練科名9	訓練科名10
81	11	埼玉	大宮建設高等職業訓練校	木造建築科									
82	11	埼玉	埼玉県畳高等職業訓練校	畳科									
83	11	埼玉	比企建設高等職業訓練校	木造建築科									
84	11	埼玉	埼玉ファッションアカデミー	洋裁科									
85	11	埼玉	ポラス建築技術訓練校	木造建築科									
86	11	埼玉	富士電機技能研修所	電子機器科	電気機器科	機械加工科	精密加工科	塑性加工科					
87	12	千葉	株式会社交通建設 研修センター	土木施工科									
88	12	千葉	君津郡市共同高等職業訓練校	木造建築科	造園科								
89	12	千葉	銚子市共同高等職業訓練校	電気工事科									
90	12	千葉	市原共同高等職業訓練校	和裁科	造園科								
91	12	千葉	千葉県菓子共同高等職業訓練校	パン・菓子製造科									
92	12	千葉	千葉県建築設備高等技術専門校	配管科									
93	12	千葉	住友林業建築技術専門校	木造建築科									
94	14	神奈川	日産テクニカルカレッジ	メカトロニクス技術科									
95	14	神奈川	いすゞ自動車高等工業学校	自動車製造科	機械加工科	精密加工科	塑性加工科	金属塗装科					
96	14	神奈川	東芝テクニカルスクール	機械加工科	電子機器科	塑性加工科							
97	14	神奈川	プレス工専学校	機械加工科	塑性加工科								
98	14	神奈川	横浜建築高等職業訓練校	木造建築科									
99	14	神奈川	川崎建築高等職業訓練校	木造建築科									
100	14	神奈川	神奈川県印章高等職業訓練校	印章彫刻科									
101	14	神奈川	湘北建築高等職業訓練校	木造建築科									
102	14	神奈川	三浦半島建築高等職業訓練校	木造建築科									
103	16	富山	富山板金高等職業訓練校	塑性加工科									
104	16	富山	高岡板金高等職業訓練校	塑性加工科									
105	16	富山	砺波板金高等職業訓練校	塑性加工科									
106	16	富山	富山建築高等職業訓練校	木造建築科									
107	16	富山	高岡建築高等職業訓練校	木造建築科									
108	16	富山	魚津建築高等職業訓練校	木造建築科									
109	16	富山	富山県左官高等職業訓練校	左官・タイル施工科									
110	16	富山	北陸電気工事株式会社 職業能力開発校	送配電科	電気工事科								
111	17	石川	建設共同高等職業訓練校	建築科	板金科	木工（建具）科							
112	17	石川	株式会社イスルギ附属技能専門校	左官・タイル施工科									
113	17	石川	川島建材株式会社高等職業訓練校	サッシ施工科									
114	18	福井	職業訓練法人 福井県板金高等職業訓練校	建築板金科									
115	18	福井	職業訓練法人 福井県造園高等職業訓練校	造園科									
116	19	山梨	富士吉田共同高等職業訓練校	木造建築科	建築塗装科								
117	20	長野	上田地域高等職業訓練センター	溶接科									
118	20	長野	岩野建設専門技能訓練学園	インテリア・サービス科									
119	20	長野	佐久高等職業訓練校	木造建築科	左官・タイル施工科	建築塗装科	配管科						
120	20	長野	長野共同高等職業訓練校	木造建築科	畳科								
121	20	長野	飯田高等職業訓練校	木造建築科	配管科								

No	県番	都道府県名	施設名	訓練科名1	訓練科名2	訓練科名3	訓練科名4	訓練科名5	訓練科名6	訓練科名7	訓練科名8	訓練科名9	訓練科名10
122	20	長野	塩尻市木曽高等漆芸学院	漆器科	工業デザイン科								
123	22	静岡	伊東高等職業訓練校	木造建築科	造園科	和裁科							
124	22	静岡	伊豆高等職業訓練校	木造建築科									
125	22	静岡	駿東地域職業能力開発学院	木造建築科									
126	22	静岡	静岡高等技能学校	木造建築科									
127	22	静岡	榛南建築高等職業訓練校	木造建築科									
128	22	静岡	内海和裁高等職業訓練校	和裁科									
129	22	静岡	小笠高等職業訓練校	木造建築科									
130	22	静岡	中遠建築高等職業訓練校	木造建築科									
131	22	静岡	浜松建築高等職業訓練校	木造建築科									
132	22	静岡	浜松市浜北高等技能開発校	造園科									
133	23	愛知	株式会社ジェイテクト	鋳造科	機械加工科	電子機器科							
134	23	愛知	職業訓練法人 岡崎技術工学院	建築板金科	石材加工科	木造建築科							
135	23	愛知	愛知県菓子学園協議会	パン・菓子製造科									
136	23	愛知	株式会社 トーエネック	送配電科									
137	23	愛知	一般社団法人 中部日本プラスチック製品工業協会	プラスチック製品成形科									
138	23	愛知	職業訓練法人 豊田職業訓練協会	木造建築科									
139	23	愛知	愛知県板硝子共同職業訓練連合会	サッシ・ガラス施工科									
140	23	愛知	名古屋市指定水道工事店協同組合	配管科									
141	23	愛知	愛三工業株式会社	機械加工科									
142	23	愛知	中央発條株式会社	機械加工科									
143	23	愛知	三菱重工業株式会社 名古屋航空宇宙システム製造所	機械加工科	溶接科	電子機器科	金属塗装科						
144	23	愛知	愛知県左官業協同組合	左官・タイル施工科									
145	23	愛知	職業訓練法人 豊橋共同職業訓練協会	木造建築科	造園科	建築板金科							
146	23	愛知	職業訓練法人 愛知県建設センター	木造建築科									
147	23	愛知	職業訓練法人 愛知県建設職業訓練協会	木造建築科	建築板金科								
148	23	愛知	株式会社LIXIL	左官・タイル施工科									
149	23	愛知	職業訓練法人 愛知県電機技術振興会	電気機器科									
150	23	愛知	職業訓練法人 愛知県瓦協会	屋根施工科									
151	23	愛知	アイシン精機株式会社	機械加工科	電子機器科	電気機器科	鋳造科						
152	23	愛知	大同特殊鋼株式会社	熱処理科									
153	23	愛知	トヨタ自動車株式会社	鋳造科	機械加工科	精密加工科	塑性加工科	自動車製造科	自動車整備科	木型科	金属塗装科	電子機器科	製造設備科
154	23	愛知	アイシン・エィ・ダブリュ株式会社	機械加工科	電気機器科	電子機器科							
155	23	愛知	愛知製鋼株式会社	機械加工科	電気機器科								
156	23	愛知	トヨタ紡織株式会社	機械加工科	製造設備科								
157	23	愛知	豊和工業株式会社	塑性加工科	機械加工科	電気工事科							
158	23	愛知	株式会社 東海理化電機製作所	機械加工科	電子機器科								
159	23	愛知	株式会社 デンソー	機械加工科	電気機器科								
160	23	愛知	株式会社 豊田自動織機	機械加工科	電気機器科								
161	26	京都	京都量技術専門学院	量科									
162	26	京都	京都府建築設備高等職業訓練校	配管科									

No	県番	都道府県名	施設名	訓練科名1	訓練科名2	訓練科名3	訓練科名4	訓練科名5	訓練科名6	訓練科名7	訓練科名8	訓練科名9	訓練科名10
163	26	京都	京都府左官技能専修学院	左官・タイル施工科									
164	26	京都	京都府板金高等職業訓練校	建築板金科									
165	26	京都	京都府硝子技術高等職業訓練校	サッシ・ガラス科									
166	26	京都	京都府菓子技術専門校	パン・菓子製造科									
167	26	京都	全京都建築高等職業訓練校	木造建築科									
168	26	京都	西陣織高等職業訓練校	和裁科									
169	26	京都	京都造園高等職業訓練校	造園科									
170	26	京都	京都瓦技術専門学院	屋根施工科									
171	26	京都	京都和裁学院	和裁科									
172	26	京都	京都きものファッションスクール和裁訓練校	和裁科									
173	27	大阪	パナソニック株式会社 エレクトロニクス社ESテクニカルカレッジ	メカトロニクス技術科	生産技術科								
174	27	大阪	大阪府洋菓子技術訓練校	パン・菓子製造科									
175	27	大阪	岩崎洋裁高等職業訓練校	洋裁科									
176	27	大阪	大阪府時計高等職業訓練校	時計修理科									
177	27	大阪	株式会社きんでん	送配電科	電気工事科								
178	27	大阪	パナソニック株式会社 工科短期大学校	メカトロニクス技術科									
179	27	大阪	パナソニック株式会社 ものづくり大学校	ものづくりシステム技術科									
180	27	大阪	職業訓練法人 育承会	美容科									
181	27	大阪	大阪府板金高等職業訓練校	建築板金科									
182	27	大阪	大阪府瓦葺高等職業訓練校	屋根施工科									
183	27	大阪	大阪府板硝子高等職業訓練校	サッシ・ガラス施工科									
184	28	兵庫	三菱重工神戸技能研修センター	機械加工科	構造物鉄工科	溶接科	電子機器科						
185	28	兵庫	川崎重工兵庫高等技能訓練校	鉄道車両製造科	金属塗装科								
186	28	兵庫	川崎重工神戸高等技能訓練校	溶接科	機械加工科	電気機器科							
187	28	兵庫	兵庫県洋菓子技術専門校	パン・菓子製造科									
188	28	兵庫	兵庫県和裁高等職業訓練校	和裁科									
189	28	兵庫	後呂和裁高等職業訓練校	和裁科									
190	28	兵庫	三好キカイ職業訓練校	機械加工科									
191	28	兵庫	川崎重工明石高等技能訓練校	機械加工科	内燃機関整備科	溶接科	塑性加工科	電子機器科					
192	28	兵庫	ものづくり教育センター (三菱日立バルブシステム株式会社 高砂工場)	精密加工科	機械加工科	溶接科	鍛造科						
193	28	兵庫	阪神内燃機職業訓練所 (阪神内燃機工業株式会社 明石工場)	機械加工科	鑄造科								
194	29	奈良	奈良調理短期大学校	調理技術科									
195	29	奈良	奈良県瓦葺高等職業訓練校	屋根施工科									
196	30	和歌山	和歌山高等職業訓練校	建築板金科									
197	31	鳥取	鳥取県中部建築高等職業訓練校	木造建築科									
198	31	鳥取	鳥取県西部建築高等職業訓練校	木造建築科									
199	31	鳥取	鳥取県左官高等職業訓練校	左官・タイル施工科									
200	31	鳥取	鳥取県八頭郡建築高等職業訓練校	木造建築科									
201	32	島根	日立金属株式会社 安来工場技能者養成所	鉄鋼科	熱処理科	機械科	電気機器科						
202	33	岡山	倉敷共同高等職業訓練校	木造建築科									

No	県番	都道府県名	施設名	訓練科名1	訓練科名2	訓練科名3	訓練科名4	訓練科名5	訓練科名6	訓練科名7	訓練科名8	訓練科名9	訓練科名10
203	34	広島	マツダ工業技術短期大学校	生産技術科									
204	34	広島	広島硝子施工高等職業訓練校	サッシ・ガラス施工科									
205	34	広島	広島県建築高等職業訓練校	木造建築科									
206	34	広島	三菱日立パワーシステムズ株式会社 呉工場 高等職業訓練校	溶接科									
207	34	広島	勝矢和裁職業訓練校	和裁科									
208	35	山口	山口県表具内装高等職業訓練校	表具科									
209	35	山口	日立笠戸技術研修校	機械加工科	溶接科								
210	35	山口	山口建設高等職業訓練校	木造建築科									
211	37	香川	タカラ高等職業訓練校	洋裁科									
212	38	愛媛	松山共同高等職業訓練校	左官・タイル施工科	建築板金科	建築塗装科							
213	38	愛媛	三浦共同高等職業訓練校	ボイラー運転科									
214	39	高知	職業訓練法人 高知県塗装工業会	塗装科									
215	39	高知	職業訓練法人 高知県板金職業訓練協会	建築板金科									
216	40	福岡	山崎高等技術専門学校	配管科	築炉科								
217	40	福岡	筑後配管設備高等職業訓練校	配管科									
218	40	福岡	福岡量高等職業訓練校	量科									
219	40	福岡	福岡板金高等職業訓練校	建築板金科									
220	41	佐賀	佐賀建築技術専門学院	木造建築科	左官・タイル施工科								
221	41	佐賀	武雄総合技能専門学院	木造建築科	左官・タイル施工科	配管科							
222	41	佐賀	伊万里共同高等職業訓練校	木造建築科									
223	41	佐賀	唐津高等職業訓練校	木造建築科	塑性加工科	造園科							
224	41	佐賀	鹿島総合技能専門学院	木造建築科	左官・タイル施工科	配管科							
225	41	佐賀	ファッションリゲルアカデミー	洋裁科	縫製科								
226	42	長崎	三菱長崎造船所高等職業訓練校	溶接科	機械加工科	電子機器科							
227	42	長崎	大島溶接技術高等訓練校	溶接科									
228	42	長崎	いさはやコンピュータ・カレッジ	プログラム設計科	システム設計科	データベース設計科							
229	42	長崎	長崎県央職業訓練校	木造建築科	建築設計科								
230	43	熊本	上益城建設高等職業訓練校	木造建築科									
231	43	熊本	熊本市技術専門学院	左官・タイル施工科	鉄筋コンクリート施工科	建築塗装科	屋根施工科						
232	43	熊本	熊本県建設仕上職業訓練校	防水施工科									
233	43	熊本	八代高等職業訓練校	木造建築科									
234	43	熊本	玉名高等職業訓練校	木造建築科	左官・タイル施工科								
235	43	熊本	九州洋裁職業訓練校	洋裁科									
236	44	大分	大分県ものづくりカレッジ	木造建築科	鉄筋コンクリート施工科	左官・タイル施工科							
237	45	宮崎	日向地区高等職業訓練校	木造建築科	建築塗装科	木工科							
238	45	宮崎	都城地域高等職業訓練校	木造建築科	造園	左官・タイル施工科							
239	45	宮崎	延岡高等職業訓練校	塑性加工科	機械加工科								
240	45	宮崎	宮崎高等技術専門学校	木造建築科	左官・タイル施工科								
241	46	鹿児島	鹿児島高等技術専門学校	左官・タイル施工科	建築塗装科	鉄筋コンクリート施工科	木工科	量科	表具科				
242	46	鹿児島	出水共同高等職業訓練校	土木施工科									
243	46	鹿児島	鹿児島ホテル短期大学校	ホテルビジネス科									